

日本大学 農獣医学部 校友会会報

第45号



《目 次》

会長就任に際して 茂澤 杲……………2	桜水会（水産学科）……………11
新会長に茂澤氏を選出	工学会（農業工学科）……………12
平成4年度総会・懇親会を開催……………2	F T会（食品工学科）……………13
研究担当など変わる……………3	拓友会（拓植学科）……………14
新図書館に記念品寄贈……………4	むつあい会（短期大学部農学科）……………15
応用生物科学科分会が誕生……………4	生活環境学科校友会
庄川洋一会長死去……………4	（短期大学部生活環境学科）……………16
農学校友会（農学科）……………5	応用生物科学科校友会
紫友会（農芸化学科）……………6	（応用生物科学科）……………17
角笛会（獣医学科）……………7	地方支部だより……………18
満喜葉会（畜産学科）……………8	日本大学農獣医学部校友会役員……………19
いもづる会（食品経済学科）……………9	校友通信コーナー……………20
林学科校友会（林学科）……………10	



会長就任に際して

農獣医学部
校友会会長

茂 澤 杲



ご承知のとおり、平成3年10月13日庄川洋一会長が心不全のため急逝され、この訃報は、校友会にとっても青天の霹靂で、ただ痛嘆の極みでした。葬儀告別式がご実家で済まされたので、11月27日大学本部校友会、相撲部をはじめ、関係各位のご協力のもと、農獣医学部校友会の総意を挙げて、故庄川洋一氏を偲ぶ会を催し、多勢の縁の方々と心からご冥福をお祈り申しあげました。

翌12月の臨時理事会で、私が会長代行を仰せつかり、その任の重さを痛感しながら、各位のご協力を得て会務を遂行してまいりました。

平成4年2月26日大学主催による、日本大学農獣医学部創設40周年と図書館竣工記念式典並びに祝賀会が、藤沢校舎講堂兼体育館で盛大に開催され、21世紀へ開く知の宝庫である殿堂の貴賓室に、永く光り輝いて欲しいとの願いを込めて、シャンデリアを農獣医学部校友会から寄贈し、祝意を表しました。

振り返りますと、昨年は、元本部校友会参与・農

獣医学部校友会の佐藤弘一会長が、2月15日他界されました。会長は15年の長きにわたり校友会のため尽力され、校友会は懇親団体であり、いかにして懇親の実をあげるかを念頭におかれ、和の精神を堅持し、総会の充実を揮ってこられました。一方、庄川洋一前会長は、本部校友会副会長・農獣医学部校友会会長・相撲部前監督で、常にフェアプレーの精神を堅持し会務に当られ、会員名簿の整備発行と財政基盤の確立を提唱実行され、会の健全化を重点とされました。また、平成4年6月5日定例理事会において、図らずも会長にご推薦戴き、7月11日の総会においてご承認戴きました。

私は、歴代会長の意を戴して、さらに、校友のため、母校のために魅力ある校友会を築くよう一層心して責務を果たしたいと思います。

今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。終わりに、会員各位のますますのご健勝、ご活躍並びに、母校のご隆昌を祈念申し上げてごあいさついたします。

新会長に茂澤氏を選出

平成4年度の総会・懇親会を開催

平成4年度の総会は、7月11日（土）15時30分より、新宿京王プラザホテル47階「青空の間」で、懇談会は17時より4階「扇の間」で開催された。

総会は高坂事務局長の司会で昨年10月13日急逝された故庄川洋一会長の御霊に1分間の黙祷を捧げ、ご冥福を祈りながらの開会であった。総会には校友100余名が出席、茂澤会長代行あいさつのあと、一川副会長を議長に選出、次の議事について審議承認された。

①平成3年度一般経過報告

- ②平成3年度会計決算報告
- ③平成4年度事業と予算審議
- ④会長選出・副会長補充
- ⑤会則の一部改正
- ⑥応用生物科学科分会の承認
- ⑦その他（地方支部報告）

庄川会長急逝により、空席となっていた会長に茂澤杲副会長（農芸化学科分会長）、後任副会長に富澤寿樹氏（短大農学科分会長）が万場一致で推挙承認された。任期は現役員の残任期間の1年間である。

大学の学科名変更に伴う会則の一部改正と、分会規定への一項目追加が承認された。最後に高知・大阪・山梨の各支部長、日本大学校友会神奈川県支部農獣医学部会長による活動状況報告をもって総会を終了した。

懇親会は65名の来賓をお迎えし、総勢約200名の出席を得て盛会裡に行われた。

茂澤新会長のあいさつ、澤村副総長、久恒校友会本部長、門田農獣医学部長の祝辞について、久木田農獣医学部校友会前名誉会長のご発声で乾杯、懇談に移った。時の過ぎるのも忘れなごやかな歓談が続いたが、19時山澤農獣医学部学務担当のご発声で、農獣医学部と校友会の発展を祈念して万歳三唱、富澤新副会長の閉会の辞をもって宴を閉じた。

(高坂記)



熱心に議題を審議する出席者



なごやかな歓談が続いた懇親会

研究担当など変わる

平成4年度学部執行部

学部長・門田定美教授、事務局長・森 保参事、学務担当・山澤新吾教授、学生担当・石井賢治教授、研究担当・石井謙二教授、企画・広報担当・出口吉昭教授、就職指導担当・岡野眞臣教授、事務長・濱

門田

定美教授
【学部長】



森

保参事
【事務局長】



山澤

新吾教授
【学務担当】



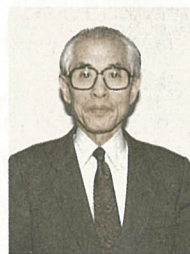
石井

賢治教授
【学生担当】



石井

謙二教授
【研究担当】



出口

吉昭教授
【企画・広報担当】



岡野

眞臣教授
【就職指導担当】



濱中

得三参事
【事務長】



渡辺
光男参事
【事務長・藤沢校舎担当】



菊地

昭福参事
【経理長】



中得三参事、事務長(藤沢校舎担当)渡辺光男参事、経理長・菊地昭福参事が、執行部として活躍されている。新しく任命された執行部はつぎのとおりである。(敬称略)

【学生担当】

石井賢治(61歳)教授。農学科。日本大学農獣医学部農学科卒。農学博士。担当科目は育種学。

【研究担当】

石井謙二(66歳)教授。農芸化学科。日本大学農学部農学科卒。農学博士。担当科目は食品化学。

【就職指導担当】

岡野眞臣(62歳)教授。獣医学科。日本大学農獣医学部獣医学科卒。獣医学博士。担当科目は獣医解剖学。

【事務長(藤沢校舎担当)】

渡辺光男(59歳)参事。日本大学理工学部機械工学科中退。

学部事務局の人事異動

平成3年12月19日付で渡辺操事務長は生産工学部事務局次長に、山内二夫庶務課長は芸術学部事務長(所沢校舎担当)に、宮本隆藤沢校舎学生課長は国際関係学部へ移動され、新任庶務課長として中田利道、藤沢校舎教務課長として高嶋隆義、藤沢校舎学生課長として市川周平氏が就任された。

平成4年3月31日付で松浦高德事務局次長は退職され、さらに平成4年4月1日付で山岸儀治藤沢校舎庶務課長は鶴が丘高等学校へ異動され、新たに研究所事務課長に佐藤正弘氏が就任された。(敬称略)

新図書館に記念品を寄贈



(上) 3階の貴賓室に校友会から記念品として寄贈されたシャンデリア(下)は寄贈文入り額

農獣医学部創設40周年と、日大100周年記念事業

で建設した図書館竣工を伴って祝う記念式典と祝賀会が、今年2月26日、藤沢校舎講堂兼体育館で開かれた。

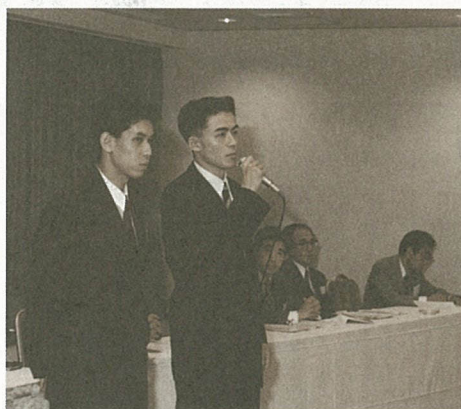
完成した図書館は、鉄筋コンクリート4階建て、延べ床面積6200平方メートル、蔵書は12万冊、情報化時代にふさわしく、情報センター、マイクロ室、ビデオコーナーなど、最新のコンピューターシステムが導入された立派な図書館である。1階にはグリルがあり、3階の貴賓室に校友会から記念品としてシャンデリアを寄贈した。

式典会場には、木下総長はじめ本部関係者、学部教職員、OB、来賓合わせて約700名が出席、門田学部長、木下総長の式辞、長州神奈川県知事 市祝辞(代読)、葉山藤沢市長の祝辞につづいて行われた祝賀会は、瀬在副総長の乾杯で歓談に入り、参加者はこの日の慶びを分かち合い、21世紀への飛躍を期して散会した。

応用生物化学科分会が誕生

昭和63年度に新設された応用生物科学科の第1期生により校友会が今年3月21日、藤沢グランドホテルにおいて結成された。

分会規定に応用生物科学科分会の一項目を追加、13番目の分会として総会で承認された。



総会で承認されたあとの代表あいさつ

庄川洋一会長が死去



庄川洋一会長が昨年10月13日、急性心不全のため、出身地の新潟県見附市で急逝されました。生前は日本大学評議員、同校友会副会長、同相撲部前監督、日本学生相撲連盟副会長などを歴任、大学の発展に貢献されました。校友一同ご冥福をお祈りいたします。

農 学 校 友 会

◇農学科◇

農学校友会事務局長交代

さる、6月27日、農学校友会「総会に代わる幹事会」が開催され、篠原正行教授に代わり米田和夫教授が新しく校友会事務局長に選出されました。これまで長い間、農学校友会業務の円滑な運営に御尽力されました篠原先生には、心より厚く御礼申し上げます。新たに事務局長となられました米田先生は、現在、農学校友会の40周年記念事業に向け事務局員共々頑張っておられます。今後とも校友諸兄のご支援とご協力を強くお願い致します。同幹事会では通常の議事「平成3年度事業報告・会計決算」、「平成4年度事業計画・予算案」が審議され、それぞれ承認されました。

農学校友会40周年記念事業決まる

今夏、猛暑の中8月22日藤沢校舎にて臨時理事会が開催され、平成5年の総会並びに農学校友会40周年記念事業について検討され次のような内容が決まりました。総会と記念祝賀会を同日にし、湘南藤沢キャンパスで盛大に行うこと。記念事業の一環として、冊子「40周年記念号」を名簿を兼ねて発行すること。開催日は平成5年10月16日、祝賀会費は10,000円、実施にあたっては理事が実行委員会を構成しあたること。

農学科の新戦力

今春までご活躍いただきました秋葉和美さん（副手）が、ご本人の事情により退職されましたので、新たにその後任として吉田伸子さんが副手として採用され、4月から着任されました。農学科の新しい若い息吹として頑張っていただけると期待しております。

入学・卒業・あれこれ

本年3月25日例年通り、卒業式が開催され、農

学科もその精鋭を112名送りだしました。その中で、立石 亮君（果樹・蔬菜学研究室）は栄えある日本大学総長賞に輝き表彰されました。今後のご活躍を大いに期待しております。平成3年度卒業生も前年同様で社会の好況に乗って、好調な就職戦線を戦い抜き大きく巣立ちました。今後は農学校友会のもっとも新しい校友として、ご活躍を期待すると同時に本会へのご支援もお願い致します。4月には新しく167名の学生が入ってまいりました。年々、女子学生の数が増え、今年は63名に及んで明るく



1年次研修旅行でのスナップ（精進湖畔で）
（班別のため新入生的一部分）

華やいだ雰囲気になっています。新入生は恒例のオリエンテーションを兼ねた研修旅行を5月9-10日静岡・山梨県下で実施し、実りある成果をあげました。その成果は、またすぐ後に行われました学部運動会で発揮され、晴れの準優勝を獲得しました。そのチームワークの素晴らしさはきっと今後のいろいろな部分でも生きてくることでしょう。

海外交流盛ん

最近、いろいろな分野での国際交流が盛んになってきていますが、農学科の先生方も活発に活躍されております。とりわけ東南アジア諸国との関係が多く、中国・北京での国際会議発表（篠原・兼平先生）、台湾や東南アジア諸国での花卉など栽培の先端技術指導（米田・野村先生）、マレーシアにおける熱帯果樹の栽培・生産技術指導（井上先生）、中国砂漠緑化と環境保全の視察（高橋理喜男先生）など色々な分野で盛んです。（勝野 武彦）

紫 友 会

◇農芸化学科◇

■平成3年度総会開催される■

紫友会平成3年度総会が平成3年11月15日（金）東京ガーデンパレスにて開催された。

総会においては茂澤 晃会長のあいさつの後、長谷川功事務局長より平成2年度の事業報告、平成3年度の事業計画についての説明、高橋令二事務局より平成2年度の会計報告、平成3年度の予算案について説明があり、いずれも承認された。

その後、懇親会は門田学部長をはじめ学部関係の多数の来賓のかたがたにもご臨席いただき盛大に行われた。

■茂澤会長が学部

校友会会長に■

■庄川洋一農獣医学部校友会々長が昨年10月にご逝去されて以来、茂澤会長は学部校友会々長代行として責務を果されてきたが、7月11日に開催された平成4年度学部校友会総会で、農獣医学部校友会々長に選出された。当分の間、紫友会々長と兼任されるが、校友会発展のためにますますの活躍が期待されている。

■農芸化学科の近況■

現在、農芸化学科は土壌学、植物栄養生理学、生物有機化学、栄養生理化学、食品化学、微生物学の7研究室に大学院生27名（博士後期課程1名、博士前期課程26名）、4年次卒論研究生168名が所属し、活発な研究活動を行っている。最近の農芸化学科の研究テーマの中には、酸性雨と土壌、地球環境と微生物生態、変性蛋白質による窒素酸化物の除去など、環境問題に関連したものから、ニンニク、ワサビの抗血栓作用、エイズウイルス増殖抑制物質の検索などの人類の危機を救う可能性のあるものまでさまざまである。これらはまさに我々が今日直面している大きな社会問題解決のための糸口を提供し得

る可能性を秘めており、農芸化学科の研究成果は内外で注目されている。

4年次学生の就職状況は景気後退により苦戦が予想されていたが、かなりの善戦ぶりだったようだ。これも学生及び教職員の日頃の努力に加え、諸先輩の社会で築かれた実績と後輩諸氏に対する暖かい配慮の賜であると感謝している。

人事関係では石井謙二教授（食品化学研究室）が平成4年度学部執行部研究担当に任命され、農芸化学科からも大きな期待が寄せられている。

石井教授の研究担当任命に伴い、大学院農芸化学専攻主任に大石邦夫教授（微生物化学研究室）が就任された。また、4月1日付で長谷川 功専任講師（植物栄養生理学研究室）が助教授に、高橋令二助手（微生物学研究室）、関 泰一郎助手（栄養生理化学研究室）がおのおの、専任講師に昇格された。吉田滋樹助手（生物有機化学研究室）は3月31日をもって、筑波大学へ転任された。

桜井英敏（食品化学研究室）、長谷川功両助教授は『デヒドロアスコルビン酸の関与する着色反応』、『植物に対する腐植酸の生理作用に関する研究』で、日本大学より農学博士の学位を授与された。

長年農芸化学科で醗酵化学研究室を主宰されていた室岡治義教授は本年3月をもって定年退職された。室岡先生は32年間にわたり農芸化学科で研究・教育にご尽力くださった。現在は応用生物科学科非常勤講師としてお元気に活躍されている。

■お知らせ■

紫友会ではさまざまな事業を計画し、準会員（在校生）へのサービス（研究室対抗ソフトボール大会、



平成3年度紫友会杯争奪研究室対抗ソフトボール大会で優勝した土壌学研究室の学生



農芸化学科第1回生（昭和37年卒）同期会（台北市で）

クラスコンパなどへの補助、卒業生への記念品）を行っている。また同期会への補助も行っているので事務局までご一報ください。（関 泰一郎）

角 笛 会

◇獣医学科◇

角笛会総会を開催

平成4年度角笛会総会がさる4月25日、日大会館において開催された。出席者82名、委任状提出者は13名であった。

総会は物故者への黙祷、日比野次郎会長のあいさつのち、議長に吉田貢茨城県支部長（18年卒）が選出され、議事に入り、平成3年度事業報告、収支決算報告および監査報告がなされた。次いで会則改正案、終身会費徴収案、第30回東京獣医畜産学会支援案、平成4年度事業計画、収支予算案、役員の承認および付帯決議などが審議の上、承認された。

平成4年度の事業計画は角笛会活動の活性化、会報の発行、卒業生への記念品贈呈、平成4年度総会開催、役員会開催、第30回東京獣医畜産学会支援などから成っている。

役員については岩田頼三氏（千葉・40年卒）が常任理事に、浜野廣氏（石川・19年卒）および小森広氏（ブラジル・31年卒）が理事に承認された。

なお、総会の席上、角笛会の発展にご尽力された前会長・田中延吉氏、前副会長・宮田萬司氏、前埼玉県支部長・三阪力氏、前山形県支部長・高瀬七郎氏、前栃木県支部長・吉成義政氏、前熊本県支部長・豊嶋琳三氏、および前鹿児島県支部長・森大三氏に日比野会長から感謝状と記念品が贈呈された。

総会終了後、門田定美農獣医学部長をはじめ多数の来賓および会員が出席して、懇談会が盛大に行われた。



平成4年度日本大学角笛会総会

学 科 の 近 況

獣医学科では、平成4年3月から4月にかけて左記のような人事がありました。

岡野真臣教授（獣医解剖学）は3月21日付で学部

執行部就職指導担当に就任されました。また、井上勇教授（医動物学）は引き続き獣医学科主任を代行されます。

野木幸恵副手（獣医衛生学研究室）、野村及子副手（獣医微生物学研究室）、堀田美和副手（獣医薬理学研究室）が3月31日付で退職されました。

上野公子副手（日大水産学科卒）が獣医衛生学研究室へ、平戸千草副手（日大水産学科卒）が獣医微生物学研究室へ、木島由美子副手（日大農芸化学学科卒）が獣医薬理学研究室へ、榊原晶子副手（日本女子大卒）が家畜病院へそれぞれ4月1日付でこれられました。

また4月1日付で、津曲茂久専任講師（49年卒・獣医臨床繁殖学）および野上貞雄専任講師（49年卒・医動物学）が助教授に、丸山総一助手（59年卒・獣医公衆衛生学）が専任講師に昇格されました。

ワシントン州立大学で

夏季獣医臨床実習

今年度の米国ワシントン州立大学における夏季獣医臨床実習が、7月22日から8月9日の日程で行われました。門田定美学部長を団長とし、田中茂男助教授、木村順平専任講師、丸山総一専任講師の引率のもと、獣医学科五年生16名、6年生8名の計24名が参加しました。

牧場実習を行う

獣医学科2年生を対象とした恒例の牧場実習が、7月20日から8月20日にわたり、北海道中標津町をはじめ、日高、八雲、岩手県大東町など6カ所で行われました。

引率は武石昌敬教授、高木香助手の先生方です。

—新入生の歓迎会—

湘南海岸で地引網

恒例の獣医学科新入生歓迎会が、今年度はさる5月2日（土）に鶴沼海岸で行われました。好天下、地引網とバーベキューを楽しみ親睦を深めました。

東京獣医畜産学会

第30回東京獣医畜産学会（大河保治担当学会長）が、平成4年10月4日（土）午前9時45分より千葉労働者福祉センターで開催されます。今回は一般講演および特別講演が企画されています。多数の先生方のご参加をお願いします。（佐藤 常男）

満喜葉会

◇畜産学科◇

満喜葉会役員会を開く

平成4年5月17日13時より農獣医学部藤沢校舎において、平成4年度満喜葉会第1回役員会が開催された。役員会は会長あいさつの後、会則に従って会長を議長として議事に移った。

①平成3年度経過報告

事業並びに経過が事務局宮原義氏より報告され承認された。

②平成3年度決算報告・会計監査報告

一般会計決算と特別会計決算について事務局泉水直人氏より報告が行われ、続いて会計監事井上貞夫氏より監査結果について報告され承認された。

③平成4年度事業計画

事業計画の説明が事務局宮原義氏より行われた後、これに関連して木村会長より活躍する校友に対し、記念品の贈呈が提案され、ともに承認された。

④平成4年度予算

一般会計並びに特別会計予算案が事務局泉水直人氏から提案され承認された。

以上のほかに、事務局小泉聖一氏より満喜葉会会員名簿発行の延期に関する報告、および事務局丹羽美次氏より日本大学農獣医学部校友会会報の形式変更に合わせて、満喜葉会会報も同様に変更する旨の提案があり承認された。

新入生歓迎会を開催



恒例となっている畜産学科新入生歓迎会が5月17日、藤沢校舎において開催された。当日は晴天であったものの、前日の雨の影響によりグラウンドが使用困難なため、体育館を使用してのバレーボール大会に変更となったが、1年次学生に混じって日頃の運動

不足解消を図る教員や上級生も加わって、みんな心地よい汗を流した。その後、学部食堂棟において満喜葉会理事・幹事を交えた懇親会が開催された。懇親会は学科主任姫野教授や木村満喜葉会会長のあいさつの後、長野教授よりWBA世界ジュニアウェルター級プロボクシングチャンピオン平仲伸明氏が紹介された。ご存じの方も多いと思うが、同氏は満喜葉会会員(40期)で、本年4月11日メキシコシティーで行われたタイトルマッチ戦に勝利したばかりである。そのため、連日多忙を極め、この日も取材の合間をぬって新入生歓迎会に出席していただいた。あいさつの中で『世界チャンピオン獲得が長年の夢であり、夢を追い続ければ必ず叶う。また、実家は養豚業をやっており、畜産はボクシングの次に好きなことで時間の許す限り豚房の清掃なども続けていきたい』等と熱っぽく語り、大きな拍手がわいた。

特別講演

平成4年5月20日、藤沢校舎において畜産学科3年次畜産学演習Ⅰの一貫としてワシントン州立大学の Dr. Raymond W. Wright, Jr. および Dr. Thomas I. Wahl を招いて『アメリカにおける和牛の生産と研究』をテーマに、特別講演が行われた。この講演は、長野・柴田両教授と Wright 教授が親しいことから実現したもので、学科内外の教員をはじめ、畜産試験場、他学年学生など多くの聴衆、さらにはNHKからも取材に来るなど、極めて高い関心を集めた。約2時間の講演の後、30分の質疑応答が予定されていたが、牛肉自由化後のさまざまな影響が現れている昨今、質問が多数にのぼり、予定時間を大幅に越えるものとなった。その後お二人は長野教授宅において本場の和牛肉料理を囲んで旧交を暖められた。また、このとき Wright 教授らは講演での本学学生のマナーの良さに大変感心されておられた。

新任教員の紹介



今春より園田豊助手を畜産学科の新スタッフとして迎えることになりました。園田氏は、昭和59年本学畜産学科卒業、平成4年同大学院博士後期課程を終了し、今年度より生産環境学研究室に所属し、飼料学実習を担当されます。(丹羽 美次)

いもづる会

◇食品経済学科◇

いもづる会総会 懇親会を開催

平成4年度のいもづる会総会・懇親会が去る6月6日(土)午後4時30分より、銀座アスター三軒茶屋賓館において開催されました。

総会においては三木会長を議長に選出し、①いも



①総会であいさつする三木会長②懇親会で歓談するOB・先生方



づる会活動報告、②決算報告、③事業計画、④予算案審議などが審議され、満場一致で承認されました。今年度は新たに161名の新入会員を迎え、会員総数は5,783名を有する大組織になり、今後の会の発展が大いに期待されます。

今回の総会で特筆すべきことは、校友の皆様からご協力をいただいている終身会費について、より有効に役立たせるために、その運用規定を制定すべく「運用規定委員会」の発足が認められたことです。校友の皆様のご期待に添えるよう努力するつもりです。

総会終了後、5時30分より懇親会に移りました。茂澤学部校友会会長代行(現会長)、門田学部長をはじめ各学科校友会分会長、執行部の諸先生を迎え総勢約100名の出席の中で、なごやかな雰囲気の中に会は進み、来年の再会を誓い合いました。今年は綿谷先生が高齢にもかかわらず石川県からご出席くださり、懐かしく歓談されていたのが印象的でした。

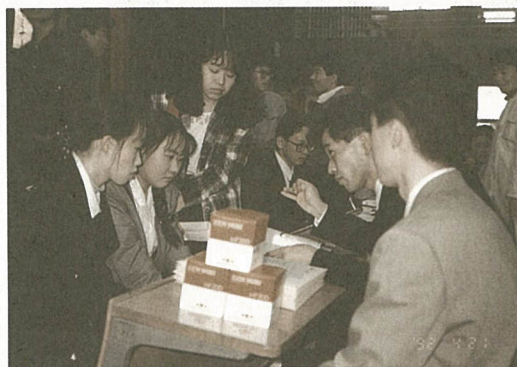
就職セミナー

学科と共催で学生300人が参加

今年度の就職セミナーは、学科と共催で新学期が始まって間もない4月21日(火)、東京校舎大講堂に、学生300人の参加のもと、開催されました。

第1部の就職指導講演会では、サントリー(株)に勤務の百田善朗さん(昭和59年卒)と野村貿易(株)に勤務の中原博司さん(平成2年卒)に就職活動と勤務経験談を、(株)イトーヨーカ堂の採用教育部長小西勝己さんからは、今年の就職情報と就職活動に向けての心構えについてお話いただきました。

第2部の企業研究相談では、参加企業46社がそれぞれコーナーを設け、学生の個別相談に応じました。開設と同時に各コーナーは、相談の学生で埋まり、



真剣な学生と企業OB(就職セミナーで)

とくに企業によっては長い列ができていました。

セミナー終了後、参加企業の方々と学科教職員の懇親会に移行、就職情勢や学科の教育内容などの意見交換が行われました。

来年度の企画は、まだ決定されていませんが、もし、開催されることになれば、総会案内とともにお知らせします。

学科だより

学科の副手として勤務されてきた村上ゆりさんがご結婚され、本年3月をもって退職されました。村上さんは、いもづる会の庶務として事務局の重要な業務にも携わってこられました。ご苦労さまでした。

その後任として、本年4月より松本有子さんが副手として採用され、学科業務とともに、いもづる会の事務も引き継いでいます。(上野恒雄・安村碩之)

林学科校友会

◇林学科◇

田中惣次氏に朝日森林文化賞

18期卒業の田中惣次さんは、第10回朝日森林文化賞を受賞された。田中さんは、東京都西多摩郡桧原村で、360haの林業経営をされているが、山中に建てたログハウスを使用して林業研修を行っており、昨年の利用者は1600名と大いに関心を集めている。その中から一人でも多くの林業理解者が出てくれることを願っている。



林業研修・体験ログハウスの田中氏ご夫妻

学生実習の場として

校友林業経営者を訪ねる

本学科三年生70名による森林土木学実習（難波・石垣担当）7は、東京都西多摩郡日の出町の羽生森林（10期卒業生哲史氏経営）を対象に実施された。林道の設計と伐出との関係、ログハウス造り、磨き丸太の生産、卒塔婆生産施設等を見学した。

参加学生と前列中央羽生氏ファミリー



また、研究室ゼミ学生を対象にした現地見学会としては、伊豆の黒田森林（1期卒業生黒田善也氏経営）で実施された。林業経営のおもしろさと苦労、林業機械と経営等について教室内では聞けない先輩の話



黒田氏を囲んで

もあり、ランドローバ2台に分乗しての現地見学においても十分な成果をあげた。

風倒木処理調査

8月3日から8日にかけて九州の湯布院及び玖珠において風倒木処理調査を行った。その際学生のお世話を引き受けていただいたのが右丸旅館（1期卒業生秋吉昭一郎氏経営）で、同氏は卒業後林業経営に併せて旅館経営、同時に町のと要職も引き受けられている。あいにく台風9号の雨の中のつらい調査となったが、湯の平温泉郷に静かにたたずむ右丸旅館の和やかな雰囲気と、大きくゆったりとした温泉につかることで疲れを癒し、元気に調査を終えることができた。

お世話になった秋吉氏と参加学生



校友会会長賞に5名

平成3年度林学科校友会会長賞の授与式が去る4月25日に行われた。鹿野会長より、山中淳也（静岡県庁）・高橋佳孝（昭和地所）・斉藤賢一（日本合板検査会）・釜田美穂（日大大学院）・川崎和之（日大大学院）の5名に賞状並びに記念品が渡された。



5名
鹿野会長、浜本事務局長と受賞者

学部運動会に6連勝

学部運動会は平成4年5月30日にあいにく雨天のため、藤沢校舎体育館で行われた。今年は各学科とも点差のない白熱した運動会となったが、林学科はみごと6連勝の快挙を成し遂げた。

林学科学生に

見学のチャンスを!!

全国で活躍する校友から「我々の力を学生の勉強に生かす機会が持てないのか」との提案が出されました。つきましては見学テーマを提案していただきたいと考えておりますのでお手数ですが井上公基までハガキにてお知らせください。（井上公基）

桜 水 会

◇水産学科◇

新生・水産学科に ご協力を

21世紀を目前に、国内では政治問題も山積し、環境浄化は水陸ともに多くの課題の解決に全力投球すべき時期にきています。ところが個人、各国の利害が複雑にからみ合い、会議のみに終わり、実質効果はほとんど見られない。しかし、我が水産学科も藤沢移転に合わせ、改善すべき多くの問題をもちながら、建て前と本音の違いがあると感じるのは私のみなのか……考えさせられているこのごろである。水産学科の卒業生の皆様におかれましても新生水産学科のためにご協力たまりますようお願い申し上げます。

【学生の動向】

1 学部学生

新カリキュラムになり、初めての入学生（平成4年4月入学生）は159名、うち女子学生27名と華やかになり、一昔前のように男子学生ばかりでない昨今で、しかも、比較的成績が良いのが特色であります。水産王国日本は男性がその中心で成り立っていたのが嘘のような有様です。男子学生にも頑張っていたきたいものです。また、本年より教育のすべてが藤沢校舎で行われます。東京校舎のみで学生時代をすごされた校友の皆様には、現在新築中の10号館は平成4年度中に（1993年3月末）完成し、学科の一部は移動し、新学期より講義、実験が行われますので、六会の新校舎にもお運び下さい。教員は東京校舎、藤沢校舎と平行しての授業など大へん忙しいと考えられますが、学生のために頑張る所存であります。

学科と桜水会合同の就職セミナー

平成4年6月20日（土）に就職セミナーを学科と

桜水会の合同で東京校舎大講堂で開催し、校友のおられる場合はおいでいただき、懇切ていねいに説明



を賜り、学生は自由に各企業の方々と話し合いを行い、有意義な時間をもちました。校友の皆様には感謝申し上げます。



桜水会懇親会

2 大学院学生

平成4年度入学生は水産生物化学（西出教授・内田助教授）1名、水産増殖学（出口教授・杉田助教授）4名、漁業学（添田教授・余座助教授）3名の計8名と定員を満ち、今後2年間研鑽を重ねるべく努力しています。研究と同時に、人格もみがいて本物になって卒業して欲しいものです。

【人事】

学部執行部の移動がありましたが、出口吉昭（1期）教授は引き続き企画・広報担当として任命されご活躍されています。

（廣瀬 一美）

工 学 会

◇農業工学科◇

〈平成3年度総会・懇親会開く〉

工学会総会は平成3年9月28日、半蔵門会館で開催。総会は一川宏也会長を議長に選出、議事が進行され、事務局より平成2年度事業経過・平成3年度事業計画および平成2年度会計決算・平成3年度予算案などの報告・説明があり、承認された。次いで会則検討委員長村田昇氏から会則の一部改正について報告され、承認された。総会終了後、懇親会が行われ、門田定美学部長、庄川洋一学部校友会会長を初め、多数の来賓のご臨席をいただき、盛會裡に終了した。



平成3年度工学会総会後の懇親会

〈平成4年度・理事会、役員会を開催〉

平成4年6月13日、本学部東京校舎で開催。議長に一川宏也会長を選出して議題の審議に移り、事務局より平成3年度事業経過・平成4年度事業計画（30周年記念事業計画、会員名簿整理、会報発送など）および平成3年度会計決算・平成4年度予算案などの報告・説明があり、承認された。

創立30周年記念式典

＝開催に向け準備進む＝

工学会創立30周年記念式典は、平成5年5月22日新宿京王プラザホテルで開催することに決定。

準備は式典・祝賀会委員会と記念誌委員会の2つからなる30周年記念式典実行委員会が設置され、鋭意進められています。

☆OB二氏博士号取得



一川宏也氏（昭39年卒）は（株）地研社長、学部校友会副会長、工学会会長と多忙な身でありながら、平成元年4月に長崎大学大学院博士課程に入学され、その後『土木工学分野における熱赤外

線リモートセンシングの非破壊探査への実利用に関する研究』の成果をまとめられて、平成4年3月に工学博士の学位を授与されました。



川西啓文専任講師（昭49年卒、農業施設学研究室）は、『牛体からの放散潜熱量の定量化に関する研究』の成果をまとめられ、平成4年3月に筑波大学より農学博士の学位を授与されました。

両氏の研鑽に対し心からお祝い申しあげ、今後のますますの研究のご発展とご活躍を期待申し上げます。

〈学科の動向〉

◎念願の博士後期課程設置なる

学部および事務局のご尽力を賜り、念願の博士後期課程は本年3月、文部省より認可があり、4月から開設。開設講座は地域整備工学、水利施設工学、農村計画学、生産機械工学の4講座。現在、院生数は博士前期課程8名、博士後期課程2名、計10名。各指導教員のもと日夜研究に励み、活気に溢れています。また、本年9月18日の大学院入学試験にはOBを含む6名が受験された。

◎学科人事

林・木村両教授退任

林 直幹教授は平成3年12月、木村 進教授は平成4年3月に、それぞれ定年を迎えられ退職されました。今後ともご健康でご活躍されますことをお祈りいたします。

東京大学から志村・森嶋両教授が着任



志村博康教授（水資源利用工学研究室）は、東京大学農学部教授を本年3月に退官、4月に林先生の後任として着任。東京大学奉職中は、農業土木学会会長を務められ、現在は日本学術会議会員として、内外の学術振興と発展に努めておられる。専攻は農業水文学・水理学。



森嶋 博教授（食資源利用工学研究室）は、東京大学農学部教授を本年3月に退官、4月に木村先生の後任として着任。東京大学奉職中を通して、現在も農業施設学会長の要職におられる。専攻は農産機械学・農産施設学。

（石川 重雄）

F T 会

◇食品工学科◇

創立25周年記念式典
日本大学会館にて盛大に開催

平成3年10月19日、本会の創立25周年の記念式典が、日本大学会館で開催されました。式典に先立ち総会では、平成2年度の事業報告及び決算報告、平成3年度の事業予定及び予算などが拍手をもって承認され、また、会費徴収に関する案及び本会の新愛

分会名の愛称が、FT会と決定されました。これは記念事業委員会が選んだ6候補のなかで、校友の希望が最も多かったことにより決定されました。FT会の名称をお寄せいただいた校友のうち、記念式典にご出席いただけた高城孝助氏（5期生）、稲岡裕子さん（19期生）、鈴木弘道氏（20期生）の3氏には式典上で記念品が贈呈されました。

新カリキュラムのもと144名が入学

食品工学科では、平成4年度よりカリキュラムを改正しました。今回の改正は、より専門的な教育・研究の強化を図ることが主な目的となっております。なお、平成4年5月1日現在の在校生数は、1年次1



25周年記念式典に出席された方々

称についても審議され承認されました。

記念式典は、18時より大講堂で、卒業生・ご来賓の方々を合わせて150余名のご出席を得て、華やかに開催されました。野田義人会長のあいさつ、山澤新吾学務担当、茂澤果学部校友会副会長（現会長）、唯野哲男学科主任からのご祝辞の後、露木英男農獣医学部総合研究所長のご発声で乾杯が行われ、祝宴に入りました。

会場では、近況を交換する校友や恩師と再会を喜ぶ歓談の輪がいくつもでき、20時に閉会となるまで盛り上がりのある祝賀会となりました。ここに祝賀会にご出席いただいた皆様ならびに景品をご寄付いただいた方々に心よりお礼申しあげます。

食品工学会からFT会へ新たなスタート

平成3年度総会にて25周年記念事業の一つである



新愛称応募の方々（左から司会の畠山智之氏〔16期生〕鈴木氏、稲岡さん、高城氏）

44名（内女子37名）、2年次167名（37名）、3年次173名（31名）、4年次163名（32名）となっております。（千野 誠）

事務局からのお願い

現在、連絡可能な会員数は約3600名ですが、この郵送費だけでも多大な経費が必要となっており、このため、将来、名簿の発行などの付帯事業が実施できなくなる可能性もあり、理事会で検討の結果、卒業後25年を過ぎた会員から新たに会費をお納めいただく案が提案され、今回の総会で承認されました。つきましては、卒業期によっては、会費納入用振込用紙が同封されることがありますので、この点をご理解のうえ、ご協力をお願い申し上げます。

拓 友 会

◇拓植学科◇

新会長に近藤良三郎氏を選出

故庄川 洋一会長の逝去にともない、緊急の理事会が平成3年11月14日に開催され、副会長の近藤良三郎氏が庄川前会長の後任として会長に選出され、残任期間を努めることになりました。

近藤新会長は昭和17年、専門部拓殖科を卒業され東洋スチールベルト工業株式会社社長・相談役として努めてこられ、昭和58年より拓友会副会長として会の運営にあたってこられ、学部校友会理事も努めておられます。

新副会長も決まる

新会長が副会長から選出されたのにもない、平成4年6月12日開催の第3回理事会において副会長の補充について提案され、水野包男氏(昭和19年卒)、下条勝利氏(昭和40年卒)が、新しく副会長に選出されました。任期は、現副会長の残任期間。

これにより、副会長は岡田正男氏(昭和15年卒)、小久保秀一氏(昭和18年卒)、浜口喜博氏(昭和24年卒)と、新副会長2人の計5名となりました。

総会・懇親会藤沢校舎で開催

平成4年度総会・懇親会が、平成4年6月20日午後、藤沢校舎において開催されました。

今まで、東京都内において開催されるのが普通でしたが、多くの学科が移転して藤沢キャンパスが充実してきていること、新図書館が開館したことなど、かつての藤沢校舎しか知らない拓友に対して、現状を知ってもらうことと、なかなか藤沢まで足を延ばす機会がないということで、藤沢キャンパスの見学を取り入れて試みられ、好評を得ました。

総 会

総会は、第1会議室において開かれ、故庄川前会長に対する黙祷にはじまり、前会長の遺徳を偲びました。近藤会長あいさつの後、議長に会長を選出し、議事に入り、理事会で選出された新会長・副会長の



総会で議長をつとめる近藤新会長

紹介が行われ、①平成3年度事業報告②平成3年度会計報告③「故庄川洋一氏を偲ぶ会」の報告④平成4年度事業計画⑤平成4年度会計予算⑥その他――について審議され、承認されました。

藤沢校舎の見学

総会終了後、権丈理事の案内で、雨の中ではありますが、整備された藤沢キャンパスの見学が行われ、新図書館をはじめとして、充実しつつある藤沢キャンパスに対して、参加者からはあらためて賛嘆の声があがっていました。



権丈理事の案内で藤沢キャンパスを見学

懇 親 会

懇親会は食堂3階で学部長をはじめとする来賓も参加され、和気あいあいとした雰囲気で行われました。

拓友の間では、自分達が過ごした学生時代の藤沢校舎の思い出と、現在の藤沢キャンパスの発展ぶりが話題の中心となっていました。

来年度の拓友会総会・懇親会への参加を期待しております。
(緒方行広)

むつあい会

◇短期大学部農学科◇

会員の皆様にはますますご健勝にてご活躍のことと思います。

むつあい会の平成4年度の総会は、6月20日15時30分より、藤沢校舎第7会議室で開催されました。当日は雨天でしたが25名が出席、議長に野村健作氏(4期)を選出し、平成3年度の一般経過報告、平成3年度の事業報告及び会計決算報告と監査報告、平成4年度の事業計画と会計予算案などの議案について熱心に討議し、原案通り承認されました。平成4年度の事業計画の中で、むつあい会会報16号の発行が承認され、掲載する原稿については会員のニュースを広く掲載することになりました。

総会終了後は、恒例の懇親会。来賓として学務担当山澤教授、短大生活環境学科長鈴木教授ほか、短大の諸先生方、校友会各分会の代表の方と会員並びに準会員(在校生)も多数参加し、なごやかな雰囲気の中で旧交を温めることができました。

7月11日農獣医学部校友会の総会が新宿京王プラザホテルで開催され、この総会でむつあい会の富沢会長が、学部校友会の副会長に選出されました。

学 科 の 動 向

農学科においては去る3月に53名(41期生)が卒業し、4月に43名(女子31名)の新入生を迎えました。2年次78名(女子49名)と合せて121名が在籍し、生物生産(64名)、環境保全(57名)の2コースに分れて勉学に励んでおり、女子学生の比率が高くなっているのが特徴的になっています。

1年次学生の学外研修

新入生に対する軽井沢研修所でのオリエンテーションも今回で14回目となり、4月20日～23日の日程で実施しました。

学園生活全般についてのオリエンテーションを目的としておりますが、親睦を深める機会ともなり、無事終了しました。

また、1年次の選択科目の環境生態学演習は7月20日～22日藤沢校舎において実施し、最終日の23日は生態学演習の一貫として、全員で茨城県つくば市の農林水産省農業環境技術研究所を見学いたしました。



農林水産省農業環境技術研究所見学

平成4年度の特待生として、2年生の清水明美さん選ばれました。



特待生

清水 明美さん
(2年)

教 員 の 昇 格

渡辺慶一助教授は、4月1日付で専任講師から助教授に昇格しました。渡辺先生は平成3年10月から平成4年3月まで農林水産省果樹試験場に内地留学されました。7月には「キウイフルーツの増殖並びに開花結実に関する生理生態学的研究」に対し、日本大学より博士(農学)の学位が授与されました。先生のご健康と今後のご活躍を祈念いたします。

教員の海外出張

浅野紘臣助教授 日本大学中期海外派遣研究員として、平成4年3月～9月までタイ国カセサート大学に留学され、このほど元気で帰国されました。

鈴木基夫教授 5月にヨーロッパにおける花卉園芸の現状調査のため、イギリス、オランダに出張されました。

青山友雄助教授 6月にアメリカ、ノースカロライナ大学で開催された農業機械学会国際大会に発表のため、出張されました。

二郷俊郎教授 6月と7月の2回に中国の民族生薬学的研究のため、出張されました。

卒業生の進路と就職状況

3月に53名が卒業しましたが、学部進学24名、専門学校6名、就職11名(種苗、園芸関係4名、食品産業2名、公務員3名、その他2名)、農業自営2名で、学部編入が5割を占めました。

事務局からお願い

本会も会員総数2,512名となりました。勤務先や住所変更、また結婚などで名前など変わった方は、お手数でも事務局までご連絡ください。(斎藤忠雄)

生活環境学科校友会

◇短期大学部生活環境学科◇

短大生活環境学科の校友の皆様、お変わりございませんか。今年度もまた、校友会会報をお届けする時期になりました。生活環境学科も平成3年度には、第6期生116名を送り出し、校友の総数は446名になりました。年々、社会での校友の輪がひろがり、その活躍が大いに期待されます。

＜軽井沢学外研修＞

今年度も恒例の新入生を対象とした軽井沢研修が4月20日から22日の3日間、実施されました。参加者は1年生135名（男子17名）、2年生33名（男子7名）でした。この研修では2年間の大学生活をより充実させるため、学園生活全般にわたるオリエンテーションを行います、とくに学生同志のネットワー



軽井沢研修会で

クブクリに大いに役立っています。今年も天候に恵まれ、第2日目のオリエンタリングは、緑の木立の中をグループごとにゴールを競い、たどり着いた

塩沢湖と浅間山の姿は、いつまでも忘れ得ぬ思い出となることでしょう。

＜学内で実施される各種技能 検定試験＞

①トレース技能検定試験（財団法人実務技能検定協会主催） 毎年10月に実施。すでに平成2年度50名、3年度48名の合格者を出しています。試験委員は飯尾・島田両助教授。問い合わせは飯尾先生まで。希望者は毎年7月末日までに住居学研室に申し込んでください。

② ワープロ技能認定試験（日本情報処理教育普及協会主催） 本学4号館のコンピュータ実習室で実施。1級から4級まで。平成4年度第一回試験日は9月5・6日に実施（10名合格）、第2回目は平成5年1月23・24日。受験者数は35名まで。

③ Lotus 1-2-3表計算処理技能認定試験（主催は②と同じ） 本学では、平成3年度に合格者8名（3級）を出しています。平成4年度第一回試験日は9月27日、第二回は平成5年2月14日です。②・③についての問い合わせは、情報処理研究室の青山助教授まで。校友の皆様も、ふるってご参加ください。

なお、コンピュータ実習室のより充実をめざして、CADシステムを35セット増設しました。さらに時代のニーズに答えるよう努力しています。

＜退職＞

長年本学のためにご尽力いただきました小柏仁鋭教授が、平成3年11月に定年退職されました。また、苅住昇教授も本年1月に定年退職されました。両先生の今後のご健康とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

＜事務局からのお願い＞

平成4年度の生活環境学科校友会総会が、11月7日に開催されます。すでに案内が届いていることと思いますが、ふるってご出席ください。なお、出欠については、欠席の方もその旨、事務局までお知らせください。

11月7日の総会で、平成5年度の新役員がきまります。各会員の皆様も、新役員をもちたてて、ご協力ください。（川崎喜久子）

応用生物科学科校友会

◇応用生物科学科◇

応用生物科学科分会設立記念会を開催

昭和63年に増設学科として発足しました応用生物科学科も、4年を経まして今春3月無事に第1回卒業生を送り出すことができました。

それに先だち、学科校友会の設立のため、当学部卒業生を主体に事務局を組織し、平成4年3月21日、藤沢グランドホテルにおきまして、日本大学農獣医学部校友会応用生物科学科分会設立記念会を開催い



たしました。門田学部長、茂沢学部校友会会長代行（現会長）をはじめ、各分会会長、事務局長、学部関係の多数の来賓の方々にご臨席いただき、新会員出席のもとに、行われました。

まだ会員数114名というわずかな会ではありますが、先輩分会のご支援とご協力を仰ぎ、一歩ずつ会を発展させていく所存でございます。



なお、事務局は日大農獣医学部卒業生の教職員、研究生、学科卒業生で下記のように組織しました。

会長・理事と事務局組織

会長・理事	大谷 憲司
理 事	中村 親民
〃	津久井 通

事務局 長	名取 正彦
庶 務 係	中嶋 睦安
	柳川 雅男
会 報 係	佐藤 嘉兵
	中嶋 睦安
会 計 係	岩渕 正明
監 事	張 培淦
	須藤 信夫
名 簿 係	小島 千恵
	島 由紀子

学科の就職状況

第一回卒業生ということもあり、学科教員の指導あるいは学部卒業生を講師に迎えての就職説明会開催などにより、就職は好調なスタートを切りました。就職決定先としては、薬品、食品、臨床検査研究所に約半数で、その他化学工業、製造関係が約20%でありました。一方、大学院進学者は国立大学が10名、本学専攻科5名でありました。以上のように卒業生全員が進路を決定致しました。今年は景気が低迷しておりますが、就職が着々と決定しており、昨年と同様の結果が期待されます。

学科の近況

当学科の増設、発展に尽力なされました室岡治義先生が、3月31日で32年間勤務されました学部を退任いたしました。

事務局からのお願い

本会は現在1期114名の会員数ですが、今後とも会員の動向を把握するため、転勤による住所変更、結婚などによる名前の変更の場合、お手数でも事務局までご連絡ください。また、会報などの郵送のためにも、終身会費未納の方はご協力をお願い致します。

(名取 正彦)

支部だより

故郷の発展に寄与 ますますの努力を 秋田県支部

農業の先行きが不透明で、農業経営者の大部分は気力を失いつつあります。わが秋田県は、農業県を自任しており、当然のことながら、各市町村においても農業・農政の振興発展を基本理念として、努力しているところであります。

ここに至って、農水省は新政策を展開するとして、最近その基本方向を打ち出しましたが、農業関係者は一様に期待の目を向けたものの、まだ将来の姿がどうなるのか、いっこうに見えてこないと批判しています。その早急な具体策の確立を望むところであり、いたずらに試行錯誤のくり返しはさけることを強く望んでいます。

大学にあって農業を学んだわが同窓は、故郷である秋田県の各界で農業と真剣に取り組み、また、何らかの関係をもちながら専心努力を続けて、地域の発展に大きく寄与しており、その成果は評価するに余りあるところです。

これからも、厳しいといわれている情勢下にあっても、ますます努力されることを望みます。

(秋田県支部 佐藤鉄太郎)

平成7年で創立10周年 盛大に総会を開催予定

山梨県支部

山梨県下の校友の皆様、お変わりありませんか。今年は7月より8月にかけては猛暑が続きまして、一部で水不足が、さらに一部の果実に高温のため品質割れがあり、収穫減少があったことは残念でなりません。

日本大学100周年の記念行事も無事終り、また、100周年の募金委員会より支部あてに礼状も届きましたが、支部校友の皆様のご協力のたまものと感謝しております。

前号の校友会報でお知らせしましたが、支部活動の停滞している折り、校友OBの、外国視察記及び農業視察記を今回は特に募り、記載いたします。S34年農業経済卒の藤森義一氏（甲府市内建材会社役員）は、会社の命を受けて、数年前に中国を視察してま

いりましたが、中国という国は、領土が広大な上に、人口が多いので、未開発の部門を含めて、将来は未恐しい国になると予言しております。スポーツなどにおいて、即ち日本などとうてい及ばない面も表われております。

アメリカ、カナダの農業を視察して来ましたS35年農学科OBの古屋勝美氏（山梨県公社役員）の文章をしたためます。同氏はアメリカ、カナダの農業を視察して来ました。巨大な都市文明、途方もなく広大な土地、フロンティア精神、それがアメリカでありました。ロサンゼルスは、人口1000万人、陽気な人びと、複雑に絡み合うフリーウェイ、ダウンタウンには近代的なビルが集中していました。しかし、高層建築が高く感じないのは、私の錯覚か、それとも広大な土地にまかせて、街は横へ横へと限りなく伸びているためだろうか。サンフランシスコは坂の多い街であり、そのうえ、下から上まで緑の地を背景に住宅がぎっしりつまっていて、さまざまな人種が、各所得階級に分かれ、モザイク状にコミュニティを作って暮らしておりました。（以下次号）

山梨県支部は平成7年で創立10周年を迎えます。その節は本部役員を招いて盛大に総会を開くつもりですので、よろしくおねがいします。

(山梨県支部長 遠藤晴正)

ゴルフコンペで ストレスを解消 大阪支部

先に行われました総会において、茂澤新会長が選任され就任の運びとなりましたこと、誠にめでとうございます。茂澤新体制下の「日本大学農獣医学部校友会」がますます発展し、強力でかつ柔軟な体制を築きあげられることを会員一同期待しております。



ゴルフコンペに参加した人たち

さて、大阪校友会活動は『ザ・ゴルフ』。今、野球、相撲とならぶ、三大人気スポーツの一つが、ゴルフといわれている昨今。休日のテレビも、どこかのチャンネルでプロの試合の模様が放映されています。



大阪校友会においても趣味の会のごとく集まり、コンペを行うようになり、今回6回目の開催となりました。ごたぶんにめれず、会場の予約、日時の決定、参加者の決定と、公用、私用と出欠の繰り返しの中、当初5組20名の予定が3組12名で楽しく行われました。場所は滋賀県東部の『イースンリゾート 滋賀』。大阪市内から当日出発するにはちょっと遠いため、前日からホテルで泊る者あり、早朝車でかけつける者あり、ではありましたが遅刻者もなく、和気あいあいのスタート。素人特有の「右ど、スライス」「ナイステンプラ」「チョロ」と、わいわいがやがや。小学生の遠足のごとく、一日を楽しく、日ご(20ページにつづく)

日本大学農獣医学部校友会役員

農獣医学部長 名誉会長	門田 定美	理事	日野 演彦 (水産)	大田区役所
会長	茂澤 杲 (農化) (株)モザワ	"	奥本 直人 (")	水産庁養殖研究所
副会長	一川 宏也 (農工) (株)地研	"	村田 昇 (農工)	中央開発(株)
副会務担当	野田 義人 (食工) 野田通信(株)	"	辻 厚志 (")	日本大学農獣医学部
副会計担当	富澤 寿樹 (短農) (有)マルナカ	"	中村 清一 (食工)	ヤマザキ製パンKK 横浜第2工場
副会報担当	西鳥羽 曙 (農学) (株)博友社	"	青井 幸雄 (")	日本大学農獣医学部
理事	浅野 明 (")	"	近藤良三郎 (拓植)	東洋スチールベルト 工業(株)
"	坪木 良雄 (") 日本大学農獣医学部	"	小久保秀一 (")	
"	江刺 琢磨 (農化) セカイ食品(株)	"	浜口 喜博 (")	
"	木嶋 弘倫 (") 豊栄産業(株)	"	山本 正義 (短農) 藤沢市農業協同組合	
"	日比野次郎 (獣医) 獣医医院	"	斎藤 忠雄 (") 日本大学短期大学部	
"	大河 保治 (") "	"	川瀬 裕美 (短生)	
"	白井 弥 (") 日本大学農獣医学部	"	岡崎 祥子 (") 住友銀行	
"	木村 栄一 (畜産) 木村農産商事(株)	"	飯塚 統 (") 日本大学短期大学部	
"	平田 芳弘 (") 神奈川県家畜畜産物 衛生指導協会	"	大谷 憲司 (応生) 日本大学大学院	
"	小牧 弘 (") 日本大学農獣医学部	"	中村 親民 (") "	
"	三木 敏夫 (食経) (株)マミーチェーン	"	津久井 通 (") 東京大学大学院	
"	村山 進 (") (株)コストムヨシダ	監事	山根 勝次 (食経) 日本大学農獣医学部	
"	上野 恒雄 (") 日本大学農獣医学部	"	川口 武志 (獣医) 獣医医院	
"	鹿野 忠 (林学)	"	岩間 脩 (畜産) パッカス商事(株)	
"	片岡 寛純 (") 日本大学農獣医学部	事務局 局長	高坂 鉄雄 (食経) 日本大学農獣医学部	
"	大川富士雄 (") 日本大学生産工学部	庶務	本江 一郎 (林学) "	
"	山下 金義 (水産) 観音崎自然博物館	"	世良田和寛 (農工) "	
		会計	木村 貞司 (畜産) "	

(19ページからつづく)

ろのストレス解消の日でありました。

これからも会員諸兄と年2回程度のゴルフコンペを開催し、校友間の輪を拡げ、またストレス発散の場として続けていきたいと願っておりますので、諸兄のより多くの参加を、お待ちしております。

(大阪支部長 尾崎恒明)

創立15周年を記念して
10月3日に総会・懇親会

神奈川県支部農獣医部会

秋も深まってまいりましたが、神奈川県下に在住の校友の皆様お元気ですか、お伺い申し上げます。

農獣医部会は、昭和53年に発足してから15年になろうとしています。その間いろいろなことはありましたが、現在の隆盛を維持できましたことは、会員各位のご協力とご努力のたまものと、心から感謝する次第でございます。

つきましては、10月3日(土)、藤沢グランドホテルにおいて、農獣医部会創立15周年を記念して、平成4年度の総会、懇親会を開催いたします。出席の皆様には記念品を贈呈し、懇親会のアトラクションには、福引大抽選会や高級果実、肉製品のオークションを開催いたします。皆様お誘い合わせのうえ、ご来場をお待ちしております。尚、本年卒業の新会員は大歓迎いたしております、ご夫人同伴も歓迎いたしますので、ご同伴でおいでください。

(農獣医部会長 佐々木弘康)

校 友 通 信 コ ー ナ ー

我が趣味 グライダー

私がグライダーを始めたのは、S49年の卒業の年からです。私の父は、若いころからの飛行機乗りで私も弟もずいぶん影響を受けています。郷里長野にクラブができ、S50年グライダー、S55年モーターグライダー、S57年教育証明のライセンスを取得しました。

ここ数年、毎土日祭日にはフライトを楽しんだり



信州大学の学生を中心に若い人達に教えたりしています。今年5月5日には、高度3600mまで上がることができ、長野から霧ヶ峰まで飛んで来ました。通常雲の高さぐらいしか上がれないのですが、この日は風が強く、サーマルウェーブと呼ばれる上昇風に入れました。途中、気流に注意をはらいながら、美ヶ原の上空へ、放送局のアンテナ群が手に取るように大きく見え、あと15~16kmで霧ヶ峰。

着陸するにも地上の風がわからず、誰か、ウインドソックスを上げてくれないかと思ながらも、風を考えながら着陸態勢に入り、無事着陸することができ、私のフライトの中で最も思い出深いものとなりました。

また6月には、長野のメンバー10名ほどで中国の西部・万里の長城の西のはずれ、嘉峪関でも飛ぶことが出来ました。来年も中国で飛べることを切望しています。

これからも、野田さんをはじめ大勢の空の仲間と語り合う機会を得たいと思っております。皆さんも自然の雄大さにふれてみませんか。(原田 正道)

発 行 所

日本大学農獣医学部校友会

〒154 東京都世田谷区下馬3の34の1

電 話 03-3421-8121 内線 354

編集・発行 会報編集委員会

印刷所 東京商工株式会社